

## 別紙

### 全国水産試験場長会 会長賞の受賞について

令和6年11月7日に長野市で開催される令和6年度全国水産試験場長会全国大会において、新潟市水族館マリンピア日本海、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所で構成された研究チーム（代表富山県）が「アカムツ種苗生産技術の開発に関する研究」で全国水産試験場長会会長賞を受賞することとなりました。

マリンピア日本海では、富山県農林水産総合技術センター水産研究所および国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所と共同で、新たな栽培漁業対象魚種としてアカムツの種苗生産技術の開発に取り組んできました。

2010年に当館が世界初となる本種の人工授精に成功したのを足掛かりに、人工授精により受精卵を得て稚魚を生産する基礎的な種苗生産技術を確立し、アカムツ仔稚魚の発生と形態変化を明らかにしました。

また、仔稚魚の成長・生残に適した水温・光条件を明らかにし、ふ化から放流までの飼育期間の短縮（5ヶ月→3ヶ月）に成功したことや、稚魚の性比がオスに著しく偏る課題について大豆イソフラボン投与により一定の改善効果を見出したこと等が評価されました。

#### ○全国水産試験場長会の概要

47都道府県の水産試験研究機関長が参画し、水産試験研究の持続的な発展及び水産業振興への寄与を目的として、

- ①他機関との情報交換、
- ②中央関係機関への要望・提言、
- ③全国大会の開催、
- ④優秀研究業績の表彰等を行っている全国組織です。

#### ○会長賞の概要

「地域水産業の発展に大きく貢献する」「試験研究の成果が今後の水産試験研究の発展に寄与する」と認められる研究業績として選出され、表彰審査委員会による審査を経て決定され、毎年3名程度が表彰されます。